

藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画(前期計画)(案)についての パブリックコメントで頂いたご意見全文

No.1 女性 30歳代

幼稚園の実行計画を読ませて頂きました。色々と考えてくださっていて、ありがとうございます。自分の子供が、今、北幼稚園へ通っていますが、耐震化されていない事を知り、不安でいっぱいです。今まで、自分の子供達が、北幼稚園に通って、7年目になります。今まで何もなかったのが良かったですが、子供達の安全を早く守ってほしいです。耐震化工事をお願いします。何かあってからでは遅いです。

それから、幼稚園の良い所は、校区の隣にある所、学校に幼稚園の頃から行ききしたり、学校に通っている高学年の5年生交流があったり、音楽朝会に出席したり、幼稚園の頃から学校へ行く事が多く学校に行ってもなれる事も早く、不安がらずに行ける事だと思います。藤井寺幼稚園と統合してしまうと、北小学校区の子供達は、北小になれる事ができず不安です。5年生交流も楽しみにしているのです。園児達も5年生達も。自分の子供達も5年生、3年生、1年生がいます。自分が通った幼稚園で小さい子達と、交流がある事を楽しみにしています。もし、統合してしまうのであれば交流をなくさないでほしいです。北小校区の子供達は、北小学校とも交流をしてほしいです。音楽朝会も北小に何度か行けるように、小学校にあがる前の子供達に、不安を作らないでほしいです。宜しくお願いします。

保育料も安くして頂いて本当に助かっています。

小学校3年生までのいる家庭は、上から数えて3人目になれば無料になりますが、4年生になると金額が変わってしまうのが残念です。一度無料にして頂いたのなら、そのまま無料にしてほしいです。4年生になっても5年生になっても、3人、4人、5人子供がいる家庭は大変です。

検討を宜しくお願いします。

幼稚園に子供達が通ってから7年目になります。幼稚園の良さを知っていますので、北幼稚園をなくさないでほしいです。北幼稚園の裏には、つどうホールもあり、おばあちゃんおじいちゃんと接して、子供達も楽しみにしています。つどうホールの皆さんも、交流がなくなってしまうと、さみしいと思います。とても残念です。

幼稚園に通う子供達が少なくなってきましたので、統合するのは仕方ない事だと思いますが、少なくなってきましたので、今度はどうしたらたくさんの子供達が幼稚園に集まってくるのか考えて、検討してほしいです。延長保育なども考えて下さっていて、本当にありがたいです。幼稚園の良さをもう少し、皆様にわかってもらえるよう、何かないでしょうか。保育園に行ってしまったら、私立の幼稚園に行ってしまう子供達が増えている中、どのようにしたら公立幼稚園に集まってくるのか検討してほしいです。

平成33年に北幼稚園と藤井寺幼稚園が統合されるとお聞きしましたが、それまでの間北幼稚園の耐震化がとても心配です。安心して幼稚園に通えるようにお願いします。

宜しくお願いします。

No.2 女性 年齢不詳

私は、1年生、年中組、2歳児の母です。

長男の幼稚園を決める際にまず3年保育にするか2年保育にするか悩みました。結局、長男は6月生まれで4歳の1年間を家で過ごすより、幼稚園でお友達と過ごした方がいいのではないかと思います、某私立幼稚園に通わせました。

真ん中の長女は、2月生まれで2年保育でもよかったのですが、長男と同じ幼稚園に通うなら一緒に通わせてあげた方がいいだろうと思い、3年の長男と同じ幼稚園に通わせました。

しかし、長女が入園したタイミングで色々と幼稚園に対しての不信感があり、結局、私立幼稚園は辞めさせて今は道明寺こども園へ通っています。

実際、こども園の方が同じ小学校に行く子ばかりで小学校も安心だし、毎日担任の先生や、保護者の方と顔を合わせる安心感もあり、幼稚園を変えてよかったと感じています。

通わせていた私立幼稚園の保護者の方は、3年行かせたいという理由がほとんどです。

そして、不信感はあるものの、下の子はやっぱり3年保育に行かせたいからそのまま同じ幼稚園に行かせるという方もたくさんいます。公立幼稚園が3年保育になれば、かなり需要は増えるのではないかなと思います。私立幼稚園は、教育面はかなり充実していますが、遊びなどはかなり限定されます。お受験などをされる方も多いです。

藤井寺市は、特に幼稚園の選択肢も少なく、妥協して私立幼稚園に通わせている方も多いのが事実です。1番下は、こども園にかよわせたいですが、やはり3年行かせたいなあと思っているのが正直なところ。なので、ぜひ公立幼稚園も3年保育を検討して頂きたいと思います。よろしくお願いします。

No.3 女性 年齢不詳

藤井寺西幼稚園がこの度廃園になると聞いた時に、市立幼稚園の良さはいずれ進む小学校との連携があることが最大のメリットだと思うので、南と統合された時西小学校との連携は変わらずにあるのかどうかと不安を抱きました。また地域密着型で家から歩いて通える範囲であることが良さであるのに統合することになり、無理して通わなければならない人がいるのではないかと心配になりました。そうすると私立幼稚園のバス送迎などが比較されより市立幼稚園へ通う者が減っていくのではないかなと。

また働くお母さんのためにこども園を増やし、国が女性を応援する一方で、家事や育児に専念しているお母さん達が胸を張れず肩身を狭い思いをしていくのも事実だと思います。

No.4 女性 20歳代

西幼稚園に今年から子供を通わせている母です。急すぎてまだ頭がパニック状態です。

※H32年間から南幼稚園と統合するにあたって、来年入園する園児は南幼稚園か西幼稚園か選択できると聞きました。もし西幼稚園を選んだ家庭が1組もいなければ、今のうさぎ組がきりん組になった時、9人と数人の先生と過ごすということですか？

※色々、国としての政策などがおりてきてたり、待機児童や耐震が優先なんだろうなと感じる内容

です。それを鑑みても、公立の幼稚園に対しての扱いがあまりにも酷すぎます。前期計画と後期計画は逆にすすめるべき内容ではないですか？

後期に三年保育を検討したところでもう遅いです。

*公立に通う子供の減少が理由になるばかりで、少子化なのは分かりきっていることです。集団を重要としているのなら、なぜもっと早く対策をとらなかったのか？

来年、保育料の無償化もあり、益々公立幼稚園に入園者が減った場合、また他の公立幼稚園と統合させますか？それしか出来ないんですか？

*長時間保育のニーズが増えているから、預かり保育を先に実施するのですか？

そのニーズはどこのですか？三年保育のニーズが実際多いのに、こちらは無視してなぜ先に預かり保育をする必要があるのですか？待機児童による受け皿にしか感じません。

共働きは確かに素晴らしいことだと思います。私もいずれは働く予定です。しかし、子供の成長はあっという間に過ぎて、小さいうちはできることなら自分で育てたいという気持ちもあり、4年間保育者に預けず公立の幼稚園を選びました。女性が働く社会なのは分かっています。

実際私立も考えました。でも、公立の方が子供らしく遊び尽くせ、娘にとってものびのびして通えると思いました。今ではDV・ネグレクトや問題が多い中、毎日子供と一緒にいた私達も評価してほしいくらいです。こちらにしわ寄せがくるのは、納得できません。

No.5 女性 30歳代

幼稚園の統廃合についてですが、広報での載せ方では統廃合に気がつきにくいと思う。大切な問題なのに、保護者の意見をきいてもらえずおかしいと思う。

私の子供は今年旧幼稚園に入園し、現在年少組にいます。来年入園の園児が旧幼稚園か新幼稚園を選べるとのことですが、大多数が新幼稚園を選んだ場合、私の子供が年長になる時には年少が少人数又はいない可能性もあるという事でしょうか。

年少、年長との関わりはどうなるのですか。子供はつい先日も年長さんにカレーパーティーに招待してもらい、とても楽しかったようで、来年は自分が年少さんにカレーを作るんだと言っています。とても嬉しそうに話します。このような行事もできなくなってしまいます。もっと深く考えて下さい。かたちばかり、人数確保ばかり考えないで下さい。子供達の事をもっと考えてあげて下さい

No.6 女性 20歳代

藤井寺北幼稚園のすぐ近くに昨年、引っ越して来ました。2人兄弟で兄4才が今北幼稚園に通っています。下の子も北幼稚園へ通わせたかったのに、困っています。すごく残念な気持ちになりました。弟は今、2才です。私自身も北幼稚園を卒園していて、とても大好きな幼稚園です。無くならない事を願っています。

No.7 女性 30歳代

今の子育て世帯は、昔と生活スタイルもだいぶ変化し、共働き家庭がほとんどなので、昔ながらの幼稚園の保育内容ではかなり古いので、園児も減少してると思います。

- ・今の3時まで保育をせめて4時までに延長（こども園のように）
- ・給食にする
- ・水曜午前中保育の排除
- ・職員研修等で2時降園も多い！11時半も。時間変更多すぎ！
- ・3年保育にする

これら少しでも改善されれば、少しは入園希望園児も増えるのではないのでしょうか。

No.8 女性 30歳代

現在もうすぐ3歳の息子と1歳半の娘がいます。やはり、公立幼稚園か私立幼稚園かを悩んでいます。

費用や身近に感じられる距離な事、小学校へ上がる頃に友人がいてくれたら…と公立幼稚園を希望していましたがやはり3年保育や、部活動や習い事のようなものが幼稚園でも出来る私立の幼稚園も検討も始めました。

理想は公立幼稚園で年少さんから入園出来ること。

幼保一体となるなら、出来るならクラスを分けて欲しい。

幼稚園での習い事や部活動の充実。

幼稚園に通っていてもたまにの延長ができる環境などがあれば凄く助かります。

No.9 女性 30歳代

・広報での幼稚園の統合の知らせ方が簡易すぎる。これから子供の幼稚園の選択をする周りのお母さんたちも統合の話を知らない人が多い。

- ・幼稚園の3年保育、給食、延長保育、長期休暇の時の保育はこらからの時代必須だと思う。
- ・統合するだけでなく子持ちの家族が住みたくなる市の政策が必要だと思う。
- ・公園が異常に少ない。

No.10 女性 30歳代

道明寺東幼稚園に子どもを通わせています。また下に2歳の子どももいます。

7月3日に行われた道明寺東幼稚園での説明会では、質問に対して「検討中です／具体的なことは決まっておりません」または「保護者の方の理解をお願いします」ばかりで、明確な回答が得られず、質問があればパブリックコメントにと言われたので、意見させていただきます。

1. 統合先の園の選定に関して、道明寺南幼稚園を選んだ理由について、道明寺南幼稚園を道明寺

東幼稚園に統合してしまうと、市の東部では北側に2園（道明寺こども園、道明寺東幼稚園）が設置され、南側には0園となってしまい公平性に欠けるとご説明頂きましたが、単純に北側、南側の園数を比べるという安易な考えだけではなく、地震や大雨洪水などの災害時における、幼稚園の耐久性、立地の安全性などを含めて、道明寺東幼稚園よりも道明寺南幼稚園の方が安全であるから道明寺南幼稚園が選ばれたのでしょうか？

2. 道明寺東幼稚園で行われた説明会では、前期計画第1次編成?において、平成35年3月31日までに耐震化工事、エアコンの導入を目標に挙げられていますが、耐震化工事の設計図作成やその他関係者との兼ね合いで、今年と来年の夏休みに耐震工事を実施することは不可能だとおっしゃられました。耐震工事の具体的な日程も決まっておらず、工事が終了する前に、幼稚園統合が行われることについて、安全性を考慮すると子どもを預ける親としては安心して預けることができず、工事前の統合には反対です。最低でも、耐震工事完了まで待ち、統合するべきです。また具体的な工事時期について、「現段階では分からない」と回答をもらいましたが、分かり次第早急に市民に知らせる義務が市にはあると思いますが如何お考えでしょうか？そして、?の預かり保育を実施するという点についても、保育の時間帯や値段、何年何月から始めるのかなど具体的な内容を教えていただきたいです。
3. 今まででは徒歩または自転車で幼稚園に通うことが出来ていたのに、幼稚園が遠くなることによって、徒歩で通園することは不可能になります。自転車の使用については、晴れの日には使えますが、雨が降ると道路の状態が悪くなり、危険なので徒歩になります。車で送り迎えをすることが許可されていないことで不満が出ていますが、園に通わせる家庭が皆車を所持している、または運転ができるとは限りませんし自転車も同様なので市の意見に反対しません。ですが、妊娠中で日常的に自転車に乗れないお母さんたちや、雨の日に遠い幼稚園まで徒歩で通わなければならない園児と保護者の負担（下の子がいる人も多いです。）を市はどのように解決、または補償しようとお考えですか？
4. 幼稚園廃統合することで、本来ならば隣接していた幼稚園と小学校が離れてしまいます。地震や洪水など災害時の小学校に通う姉兄の引き渡しと、幼稚園に通う下の子の引き渡しなど、どのように解決しますか？また災害の際、校区外の遠くの幼稚園へ迎えに行くことができるのか分かりません。一人っ子の場合は問題ありませんが、危険な状態の中、妹弟を連れて遠くの幼稚園へ自転車または徒歩で迎えに行ったり、または園児を迎えに行った後に、また離れた小学校まで姉兄を迎えに行かなければならないという問題が起こります。昨今は地震や洪水などの自然災害が頻繁に起こっているの、上記の点についていかがお考えでしょうか？
5. 小学校が終わる時間と幼稚園が終わる時間が重なります。私の場合、下の子が公立幼稚園に通い始める年に、上の子は小学1年生になります。小学1年生の子を一人で学校から家まで帰らせ、家で留守番させておくのは親として心配しかありません。本来ならば、小学校と幼稚園が隣接しているので、小学校が終わる時間と幼稚園が終わる時間で2人同時に迎えにいけるはずなのに、廃統合によりそれは難しくなります。その点はどうお考えでしょうか？

7月3日に行われた道明寺東幼稚園での説明会では、質問に対して市からの回答は曖昧なものが多く、何のための説明会だったのか、正直呆れてしまいました。

幼稚園の廃統合だけを先に決め、廃統合に伴う問題の解決策の詳細や保護者の負担を全く考えていないという印象を受けました。

統廃合まであまり時間が残されていないのにも関わらず、(統廃合される最初の年に公立幼稚園に入園する児童は、私立幼稚園の3年保育という選択肢もあり、その場合は来年入園、つまり今年申

し込みになります。)市の対応があまりにも遅いです。

統廃合を行うことにしても、行う前にさまざまな事態を予測してそれに対する対応、詳細などを早急に提示していただかないと、幼稚園を選ぶ親として非常に困ります。

No.11 女性 年齢不詳

来年度、道明寺東幼稚園の入園者が少なくなった場合、今のうさぎ組の子どもが下の子のお世話をしたり、下の子を思いやる気持ちを育む教育が、今までと同じように出来なくなりますが、出来なくなった部分をどのように補ってもらえますか？

子ども、親に負担をかけないかたちでの救援策を教えてください。

No.12 女性 年齢不詳

藤井寺南幼稚園の説明会に参加しました。その場でたくさんの意見がありましたが、同じ保護者の立場で最も深刻に感じたことは、以下のことです。

既に兄弟が藤井寺南幼稚園の分園に年中クラスとして通っているという人がいること。

この場合は、該当者は、普通は分園を選択しますよね。しかし、他の入園希望者の立場からすれば、途中で転園が決まっている幼稚園にわざわざ我が子を入園させたいとは思いません。間違いなくその該当の方のみ分園を希望することになってしまい、お子さんがとても気の毒です。

そこでいくつか提案したいと思います。

一つは、この計画自体を一年先送りにすることです。どの保護者のかたも、今回いきなりの話だったことに大変驚かれ困っていらっしやいます。正直なところ、昨年このような話が2年後のこととして既にでており、その時点で年子の兄弟がいる家庭のみでも幼稚園を選択できるようにしていれば今回のようなことで悩む人は減らせたと思います。

二つ目は、兄弟が違う園に通うことになった場合でも、お迎えがスムーズにできるようなサポート体制を整えてください。年子の兄弟がいる保護者だって、我が子のことを考えれば、転園のない幼稚園に通わせてやりたいと思うと思います。その場合でも、片方の子供のお迎えに行っている間はもうひとつの幼稚園に通っている子供の預かり保育をして、その保護者の負担を少しでも軽減してほしいです。これらのことに対する対策を是非入園申し込みが始まるまでに、決定していただきたいです。是非決定したことをもう一度今回のような説明会でお伝えください。

No.13 男性 60歳代

藤井寺市の幼児教育の現状を理解する指標として、「集団教育」しか挙げていないことが問題です。さらに「集団教育」の中身についてもぼんやりした説明しかかりません。幼稚園や保育所に通う子どもたちが、小学校での知識や技能の習得を可能にするような基礎的な力を育んでいるのか、幼稚園や保育所の中で心身が過度な緊張を強いられることなくその場に満足しているのか、こうした観点もないままに、公立幼稚園を減らしていく方策へと論を進めています。原因のひとつは、計画

を考えた「部会」が、市役所の外、幼稚園の教員、保護者、有識者など市民の声を排除して議論したためようです。そのため、3年保育に対する市民のニーズをつかみそこなっています。公立幼稚園の園児の数が減っている要因のひとつは、3年保育を行っていないためようです。そのため、藤井寺市の外の私立幼稚園に子どもたちが通っています。藤井寺市の「第五次総合計画」では、市民との協働をうたって「地域の担い手である市民や事業者などが、適切な役割分担と協調・協働関係のもとで、パートナーとしての関係を築き、それぞれの役割を担っていくことが必要」と語っています。人口減のため税収が減っている中で、自治体は市民の中に潜在する社会資本を活用して市民へのサービスを強化する必要があります。そのためには、市民の声に耳を傾けながら、多くの市民と手を結んでともに活動していかなければなりません。今回の計画は、そうした方向性とは真逆の手法と言えるでしょう。

No.14 女性 30歳代

今日、説明会に行きました。そこで思った事を書きます。

私も他府県から嫁いだものです。幼稚園統合することによって集団生活がより豊かにできると書いてありましたが、今後、人数が集まらない限り難しいと思います。

統合することによって、移転する人達にとってメリットがないからです。

- ・幼稚園から遠くなる
- ・時間もかかる
- ・今まで園の子みんな同じ小学校だったのが変わる

統合することによって、公立幼稚園へ入園しようという方が増えるのでしょうか？あの資料よりも入園数が減ると考えられます。自分が移転する側の保護者なら、お弁当作って、前よりも遠い公立幼稚園へ行こうとは考えません。そして小学校も違う。何がメリットになるのでしょうか？

それなら、バスもあり、給食もあり、近所の子ども達が行く私立幼稚園に通わせようと思います。全く保護者の意見も聞かず、統合に進めるのはやめて欲しいです。

No.15 男性 50歳代

普段は分園に通わせている親として、本園に集まらせて頂いたときに思うことですが、二階天井の梁に、数え切れないほどのクラックが入っている状況を見て、もし今ここで地震でも起きたら、えらいことになるのではないかとこの恐怖心で、正直あまり長居したくないと考えてしまう程です。

今回、その危険な本園に子供たちを統合しようとする案がでていますが、計画の責任者は、この建物の状況を、きちんと把握されたうえでの判断なのではないでしょうか？

統合以前に、建物の改修工事を早急におこなうべきであり、子供をまとめるなどと言うのはその後の話ではないのでしょうか？

私事ではありますが、幼少期は市内の私立幼稚園に通っておりました。これは親のステイタスもあつたようですが、小さな運動場とも言えないスペースと室内授業をした記憶しかのこっていません。

それに対して今、息子が通っている分園は、運動場も広々としていて子供が遊ぶには十分であり、それ故、運動会は、いつも本園ではなく分園で行われます。

そしてさらに素晴らしいのは、今、世界遺産への登録を目指す、百舌鳥古市古墳群の一部である宮山古墳をバックにした、自然豊かな環境に位置している事です。古墳が背景にあることにより、園は市中の山居となり多くの動植物が訪問してきます。カワセミ、コゲラ、エナガ、カルガモ、カイツブリなどの鳥類、コクワガタ、や都市では見れない関西タンポポ(日本固有種) など、生きた教科書が他にも周りに沢山存在しています。このような素晴らしい環境を持つ幼稚園が、都市にどれだけ存在するのでしょうか。

周囲の住民の皆様も園に協力的で、畑を貸して頂いての授業など、私もこんな幼稚園に行きたかったと思うほどの、素晴らしい場所です。

勿論、先生方も素晴らしく子供たちの心の成長を第一に考えて下さり、私立によくある、小学予備校ではなく、みんなで協力して生きる術と楽しさを学べる保育方針に感銘しております。

市は、この素晴らしい園の PR をもっと行うべきだし、三年保育にも、もっと積極的になるべきにも拘らず整理縮小を進め、これから確実に確保困難になる専門人材まで、減らそうとしているのではないのでしょうか。

隣の奈良県では、公立幼稚園でも三年保育を実施しているそうです。それを理由に奈良に移り住む人の話もよく聞きます。

今後、進んでいくであろう、少子高齢化社会において、子育て世代、および子供を取り込む政策を進めずに、目先の事案ばかりを追うような計画で、本当に藤井寺の未来が守られるのか心配です。小さくてもキラリと光る街というのは、大きな力は無くても、他にはない利点、長所を見付け、生かして行く知恵を持つ市民、市政の事だと考えております。

No.16 女性 40 歳代

市立幼稚園、保育所の再編案には反対です。

現在の市立幼稚園は各小学校と同じ場所にあることが、とても良いことだと思います。子供が小学校に入学した時から、通いなれた道を通るので親としては案心できています。又、兄弟がいる場合小学校の参加や、林間、修学旅行の説明会の時間が幼稚園のお迎えの時間になっていることが多く幼稚園児のいる家庭の親は小学校の行事に参加出来なくなります。今は、同じ場所なので、すぐに戻ることができるので参加できています。説明会などに参加出来なくなることはとても困ります。うちは藤井寺北小学校区にあります。北幼が藤幼に統合されると北小校区には保育所を含め幼児の通う施設が全く無くなります。ここにも問題があると思います。

No.17 女性 30 歳代

今回の再編案、反対です。

公立幼稚園の魅力は、地域密着、家から近くて地震などの災害時は安心、そのまま小学校に上がれる…だと思います。今回の再編案では、その全てが失われます。国の方針で、幼児教育無償化も進んでいくと、ますます公立幼稚園の学級人数は減ると思います。←統合しても公立園の魅力がないため。

私の周りでは、公立園は3年保育がないから市外だけど、私立の幼稚園にする。3年保育があれば

ば公立に入れるのに！という意見がものすごく多いです。大きな改革だとは思いますが、統合よりも、まず3年保育を今ある施設で行ってほしいです。必ず学級人数も増えると思います。(別の市では、公立で3年保育、給食ありも実現しています！)

No.18 女性 40歳代

少子化に伴う就学前児童人数の減少・ライフスタイル変化に伴う長時間保育へのニーズ増大により、市立幼稚園のニーズが低下している現状で、表記計画(案)が立案されたことは避けることのできないことであると理解いたします。

しかし、「前期計画」内容を拝見し、市内7園2分園を統廃合園することによる4園配置という第1次再編計画が、果たして有効な措置であるのか、現在園児や保護者の露海を得ているのかということにおいては疑問が残ります。

平成30年7月3日より、各市立幼稚園において保護者説明会が開催されているようですが、突然のことに反対や不安の声があがっているようです。懸念される一例として、以下に記載します。

- 通園距離や通園路の安全性についての不安が生じる。(徒歩または自転車での通園で時間もかかる上、更に未就園児の弟妹を同行しての通園の場合には負担が大きくなる。春日丘地区の方の場合、藤井寺西幼稚園からシュラホールへ通じる道が最短距離と思われるが、車両の通行も多く安全面に不安が残る)
- 平成31年度の入園は、旧通園先と新通園先を選択できるとのことだが、転園の発生しない新通園先を選択する可能性が高くなると、現年少の園児たちは、来年度年長組だけで1年を過ごさねばならないのか。野中分園に通わせてあげたいが、来年度は年長6人だけになるかもという不安。在園児のことを考慮しているとは思えない。園児にとって年長になり年少組と関わることは大きく成長することのできる過程であり、その過程を奪うことになるかもしれないこの通園先選択制は、最適な措置とは言い難い
- 現在行われている年長組と小学校5年生との交流会で、子供たちの小学校入学時の安心感につながるという利点があるが、4園配置となった場合、入学予定の学校との交流はできるのか
- 統合後の幼稚園において預かり保育を実施することだが、事業内容等については追ってお知らせいたしますとのこと、内容が不鮮明である。早急に明確にならないのであれば、結局、私立幼稚園・保育所に流れてしまう。

学級人数の拡充・集団教育の効果の向上を図るとのことですが、不安や疑問の残る「前期計画」(案)では、更に保育所や私立幼稚園への移行が進むだけであると思われる。

また以前から訴えられている市立3年保育制が、なぜ案として挙げられないのかも疑問です。公立幼稚園に入園させたいと考えていたが、あと1年待てないので私立幼稚園に入園させるという声は、以前より多く耳にします。統合よりも3年保育制導入の方が、より市立幼稚園の人数拡充効果をもたらすのではないのでしょうか。

H26年藤南・藤西小学校の統合計画が掲げられたにも拘わらず凍結し、不安は解消されたとはいえ、私たち保護者が振り回された前例もございます。

在園児の保護者の方々や市立幼稚園職員の方々の意見を認識していただいた上で、できるだけ多くの方が納得できる措置をしていただきたいと切に願っております。

No.19 性別・年齢不詳

藤井寺南幼稚園野中分園の年少児について

私の身内も野中分園を卒園していますので、他人事ではないと思ひ意見させていただきます。

広報や藤井寺市のHPに「現在の在園児に影響はありません」と大きく記載しているにも関わらず、現野中分園年少児が年長になる際に影響が出てしまうかもしれないと耳にしました。

年少児の保護者が年長時のことを質問したら、「来年度の入園児の受付で検討する」とお返事されたそうですが、その時点で影響があるということではないでしょうか。

来年度の入園児を本園又は分園を選択できるようにするのではなく、在園児である野中分園年少児の教育の為に地区で決まっている幼稚園に入園させると言う方法を取るべきだと考えます。

そうすれば現野中分園年少児に何も影響を与えず再編計画を進めることができるのではないのでしょうか。

来年度の入園児にはまだ幼稚園を選択する権利がありますが、現野中分園年少児には藤井寺南幼稚園で年長を迎えるということしかできない。それならば現野中分園年少児を優先に考えるべきではないかと思ひます。現野中分園年少児の保護者の立場からすれば、「影響ない」と思っていたのに影響がある。自分たちの想像していた幼児教育を受けさせることが出来ないのであれば転園も視野に入れることも有り得るでしょう。

そうなれば本末転倒で公立の園児がさらに低減するのではないのでしょうか。少なからず、先日の説明会で我が子のあまりの扱いに転園を考えると云った保護者がいらっしゃると伺いました。

来年度に関しては、新しく入園する園児ではなく在園児を優先に考えるべきだと思ひます。

No.20 女性 50歳代

H31年4月から実施は、急すぎるのではないのでしょうか。

パブリックコメントの受付がH30.7.31で園の申込みが10月というのは、期間がなさすぎます。

どうしても、H31.4月実施するのであれば、更なる具体的理由が知りたいです。財政上でしょうか。昨今、子育て事情は厳しいことが多いと思ひます。保護者が孤立しないよう積極的に対策を検討していただきたいと思ひます。

No.21 女性 30歳代

藤井寺市立幼稚園統廃合について、納得のいく説明がないまま計画が進められていることに困惑しています。

計画がしっかり決まっていなくても関わらず、10月に来年度入園申し込みの受付を開始されることはおかしいのではないですか？

上の子を公立幼稚園に入れた時点で、下の子も同じ幼稚園に入園させると思ひました。保護者は子供の進路を何年もかけて考えています。10年も前から年々公立幼稚園に通う園児が減ってい

たことを把握されていたのにも関わらず、今になって急いで統廃合の計画を進められても困ります。もう少し早く園児が増える為の努力ができなかったのですか？急に部会を立ち上げて、急いで立てた計画を、急いで市民に伝えるやり方は、ただ市民を困惑させるだけです。住民合意なしに計画を進めないでください。

小学校の中に幼稚園を作る案に賛成します。

小学校の空き部屋がないとの話を聞きましたが、クラスとして使っていない部屋を整理し、幼稚園児が使用できるようにしてはどうですか？耐震工事済みで新たに耐震工事をする必要もありません。

給食導入もできると思います。

小学生との交流もできます。

統廃合することでかかってくる費用が押さえられるのではないですか？

道路の安全の問題も、小学生の兄弟がいる家庭での下校時間が重なることによる安全面も考える必要がなくなります。

統廃合により、公立幼稚園に行かせるのをやめようと思っている家庭もあるなか、統廃合計画で園児が減るより、小学校に幼稚園を作ることで園児が増えることも考えられます。

統廃合計画を実行した場合、これから先、また園児が減ってきたときはまた統廃合するのですか？

No.22 女性 30歳代

昨日、藤北幼の説明会に行って話を聞いたが、お母さん方がこれでは納得できないだろうなと感じました。市の配付プリントと説明では「児童数の減少に伴う学級人数の低下」を統合の理由としているけれど、保育所は100%の児童数を超え、更にふじみ緑地にも保育所ができるとのことで矛盾している。子どもが減っているのはどこもそうで、現在のニーズに合っていない、でも公立幼稚園はなくさずにいるにいたいと言うのであれば、現代のニーズに合うよう公立幼稚園も制度を変える必要があると思う。延長保育など、他の私立・保育所との差別化、もしくは良いところは取り入れる。ただ単純に人数の都合で統合は安直すぎるし、納得いかない。公立の最大のメリットは隣に小学校があるということ。藤幼に統合されても小学校時にはまた通学ルートを変更しないといけない。友達と仲良くなっても小学校は違う。(中学校すら一緒にならない子が多い) 小学校交流は藤小だと思うので、北小に知り合いがない…本当に何一つメリットがなくなるので、せっかく園区の児童数に対する就園率が高い北幼なのに多分誰も行かなくなるでしょう。実際、統合したら公立のメリットないから私立か保育所に行かせるしかないな…と話しているお母さんも多数おられます。とても勿体ないと思います。通わせている方としては、先生はよく目が行き届き、園長・先生方も素晴らしい、環境も良いのでこれからも存続して欲しいと願います。

また、市の対策について、「あひる組」「きらりキッズ」を挙げられていたが…。「あひる組」に関しては公立幼稚園の入園を決めていたうちの子には、スムーズに園生活に入れたのでとても良く、ありがたいと思っています。しかし、私立や保育所を考えている方は、3歳児の段階ではもう既にどちらかに属している方が殆どで、公立の人数を増やすという意味では無意味と言えます。「きらりキッズ」に関しては、その存在を知らない方が多く、広報に少し書いているのみで、市が主張する割にはPR不足と感じます。いずれも現場の先生方が頑張ってくださっているからこそ生きている対策であると思います。

子どもが少ないことを理由にしているが、今いる子供達に選んでもらえる公立にしないと統合しても結局存続はできないと思う。統合が公立存続の解決になるとはどうしても思えない。目の前のことだけではなく、長期的に考えて解決していく必要があると思う。子供たちの教育環境、生活に関わる重大な事なので、市には更なる努力を求める。このやり方、説明では反発は起こると思う。※説明会の時、母親にもマイクを渡す配慮もないのかなと思いました。意見が聞こえなかった方、多数おられたようです。

No.23 女性 30歳代

保育園に入りたくても入れない人が多い中幼稚園はどこもガラガラな状態なので、どこも子供園にしていく計画を進めていただきたいです。

やはり、同じ小学校に通う事ができるお友達と過ごす事が良いと思います。

幼稚園同志合併しても、小学校は別になり通うのが大変になってくると思います。

公立幼稚園の魅力は、小学校近く、家からも近いだと思っています。こども園になったら、延長保育、給食にとっても魅力的だと思います。一度ご検討下さい。

No.24 女性 30歳代

来年の入園者の多数が統合先の幼稚園を選んだ場合、今年年少に入園した子供たちはどうなりますか？来年 年長に進級しても年少児がゼロの可能性もあることも考えてもらえていますか？

なぜ入園説明会るとき、今年入園する年少児の保護者に一言説明がなかったのでしょうか？そのときに公立幼稚園の現状が把握できていたら選択肢は増えていたし、仮に通っている途中で統合されたとしても、納得できたと思います。来年の入園者は、統合問題に不満があっても納得のうで入園できますが、今年の入園者はただ犠牲になるしかないのですか？

来年入園する先を選ぶのではなく、来年一年間は月に数度、統合予定の園で合同保育をすれば、統合された後でも子供たちはゼロからのスタートにはならないし、保護者の送迎の負担も一年間は軽減されると思います。

いま通っている年少クラスの子供たちにしわ寄せがこない対策をぜひお願いしたいと思います。

No.25 女性 30歳代

先日道明寺東幼稚園で行われた説明会に参加させていただきましたが、全く納得の出来ない説明会でした。こちらの質問に対し、詳細はまだ未定、今後検討していく、意見はファブリックコメントをお願いします、だけで、なんの説明会だったのか、ただの時間の無駄でした。説明会を行うなら私たちの質問に対して明確に返答する必要があると思います。まだ詳細が決まっていないのに、統廃合の計画を進めるべきではないと思います。

私は道明寺東幼稚園のうさぎ組（年少）の保護者ですが、入園して間もなく第五保育園との合併の話があつてすぐ、その計画はなくなったと話がありましたが、4月5月の段階では道明寺東幼稚

園は存続予定だったのですよね？6月になりいきなり道明寺東幼稚園が廃園される予定だと言われても、理解も納得も出来ません。子どもたちの大切な幼稚園生活をなんだと思っているんですか。そんな子どもたちに影響を及ぼす重要な事案を簡単に決めるなんて本当に子どもたちのことを考えているのですか。

説明会にも話させてもらいましたが、今の年少児が年長児になったとき、入園児がいないもしくは極端に人数が少なかった場合、年長児が年少児のお世話をする、教えるという教育ができなくなります。説明会では交流会で補うとおっしゃっていましたが、それは携わる先生の努力であって、市としてなにかしてくれる訳ではないのですよね？来年度の入園児まだ未定なので、どうなるかわからないと言っていました。いない場合のことを考えて、年長にどういう影響があるのか、その対策を市が考えなければいけないことではないですか。

そして、子ども園や道明寺南幼稚園と同じ市立幼稚園なのに、同じ教育がなされないのは不公平です。道明寺東幼稚園に在園している子どもたちを犠牲にするつもりですか。5月までは存続する予定だったのに、子どもたちを犠牲にしてまで早急に廃園するのですか。もし仮に今のうさぎ組(年少)が入園する前にこの話を聞いていたなら、道明寺東幼稚園に入園するのをやめていたかもしれません。子どもの幼稚園、保育園を選ぶことは、親は子どもにとってより良い環境で過ごして欲しいと思っており、色々と情報を取り入れて真剣に考えているんです。それだけ重要なことにも関わらず、急に子どもが通っている幼稚園が急に廃園になります、次の年は入園児がいないかもしれません、と言われても納得できないですよね。子どもが年長になったとき、年少児がなんでいないのと聞かれたら親が納得していないのに、子どもをどう納得してもらえばいいですか。納得できるよう説明をお願いします。

子どもが少なくなり市立幼稚園児の数も少なくなっているのは事実であり、統廃合の話がでるのは理解出来ますが、あまりにも急な話であり、子どもたちや保護者になんの説明もないのは、ただ憤りしかありません。まだ詳細は決まっておらず、保護者も納得していないのに、平成32年に道明寺東幼稚園を廃園することは、今の道明寺東幼稚園の在園児とあひる組の子どもたちの幼児教育を犠牲にすることです。それでも廃園にしますか。

No.26 女性 40歳代

藤井寺市西幼稚園に子供を通わせていました。

西幼稚園が統合されると聞いてすごく残念な気持ちでいっぱいです。

遊びの中でたくさん学んで成長できる市立幼稚園は、今でも通わせて良かったと思います。これからの市立幼稚園を存続させるには、3年保育、給食の導入などを検討してほしいです。3歳児から入園できるようにすればもっと市立幼稚園に入園する子供が増えると思います。

No.27 女性 30歳代

市は、預かり保育の導入だけで園児増加を見込んでいるそうだが、わざわざ預かりに入れてまで働くなら3年保育の私立園の預かりを選ぶと思う。

後期計画で3年保育と給食導入を考えるとやっているが、後期までの4年程で、人数が減ってし

まい、園児数が1桁になった場合はどうするのか考えていないそうだが、前期計画が失敗になった場合、後期で検討するのでは、その間を通う子どもたちにとっては一度きりの園生活が、家から遠く危険で、園児が少なく、進学する小学校と遠く、働きに出ない家庭にとっては預かり保育も利用しないので、デメリットばかりの2年になる。

3年にしないのは、藤井寺市の私立園と利用者を取り合う競争関係にならないようにとのことだが、そんな甘い事を言っているのは、他市の松原、羽曳野、柏原の私立園にますます藤井寺市の子どもが流れ、共倒れである。市の建前ではなく、1番に市の未来、市民や子どもたちのことを考え、統合と共に3年保育に踏み出すべきだと思う。良い教育を残そうと努力せず、これだけ3年保育の声があがっているのに、実施しない方針であると言って放置し続け、園児が一桁になっても今まだそう言い続けている市の責任は重いと思う。

No.28 女性 40歳代

藤井寺西幼稚園に姉妹で通いました。

子供たち2人とも毎日楽しく幼稚園に行っていました。そんな、幼稚園が統合させると聞き、私も子供たちも寂しい気持ちです。

これから、市立幼稚園を存続させるには、3年保育や給食の導入など、その辺りが大きなポイントになるかと思います。そういう変化があると入園希望の子供たちも増えるのではないかと思います。

No.29 女性 40歳代

最初に。パブリックコメントを公表される際は、寄せられたコメントは省略して発表せず、原文のままをご記載下さい。

また、一方的で具体性に欠ける「ご理解ください」「努力します」は回答ではありません。質問の意図に対して正確で具体的な回答をお願いします。

「藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画（前期計画）（案）」（以下、「計画案」と記載します）では、2017年11月広報に記載されていた「H32年4月を目処に、第五保育所保育所が道明寺東幼稚園に移動する」という件について記載がありません。「詳細は決まり次第お知らせする」とありましたが、一体どうなったのでしょうか。「計画案」では単純に道明寺東幼稚園は廃園になるということですので、移転は中止になったものと推測されますが、中止になった理由や詳しい経緯を広報にて周知してください。出来ない場合は、何故できないのか具体的かつ合理的な理由をご回答下さい。

「計画案」についての周知が足りません。

この情報は子育て世代にとって非常に重要なものです。忙しい子育て世代に確実に情報が届くよう、個別に通知を出すか、せめて詳細情報を広報に載せるべきです。

また、パブリックコメントの募集期間が周知が充分でない期間にはじまり、周知が充分でないま

ま終わってしまいます。個別に通知を出すか、詳細情報を広報に載せた上で受付期間を延長して下さい。出来ない場合は、何故できないのか具体的かつ合理的な理由をご回答下さい。

パブリックコメントについて、回答は次の入園申し込みの10月に間に合うように回答を出すという説明が「計画案」についての説明会でありましたが、専門家や関係者などを招いてコメントの内容を検討していただく為には回答が数ヶ月で間に合うとは思えません。（「計画案」でも「後期計画」を定めるためには専門家を招いて相談するのに一年間の期間を設けられています。）

また、一方的で具体性の欠ける「ご理解ください」「努力します」は誠実とは言えません。可能なコメントは受け入れ、不可能なものについてはなぜ不可能か、合理的な理由をご説明下さい。必要であれば、予定されている統合の予定日（特にH32年4月）を延期し、きちんと精査・検討したうえでご回答をお願い致します。

「計画案」は「公共施設マネジメント推進本部」の下部組織として新たに「藤井寺市立幼稚園・保育所あり方検討部会」が設置され、その中で「藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画（前期計画）（案）」が制定されています。

これは「計画案」が施設再編ありきで、その場所を利用する子供たち（就園児童は勿論、園庭開放やきらりキッズなどを利用している地域の子供たち）やそれぞれの家庭事情については後に回されているということです。年々減っている年少人口に対し、市の都合で不便と不安を押しつけています。柔軟に計画を見直してください。具体的には、中止にするべき箇所は中止にしたり、延期をするべき箇所は延期をしてください。

「計画案」には市立幼稚園の学級人数の拡充を図るために幼稚園を統廃合するとありますが、「計画案」の中で示され、説明会でも市のかたからお話もありましたが、「望ましい学級人数は」資料の通り二十人前後です。市内の幼稚園も場所によって就園人数にはバラつきがあります。現四歳児（うさぎ組）、現三歳児（あひる組）が十人以下となっている園については集団教育の効果を検討する余地があるかもしれません。

が、道明寺東幼稚園については現四歳児（うさぎ組）は十五人、現三歳児（あひる組）は十六人在籍しています。これは集団教育の効果が薄くなっている・もしくは得られなくなっているのとは難しい人数です。

特に、道明寺南幼稚園と並んで道明寺東幼稚園は現四歳児（うさぎ組）より現三歳児（あひる組）の人数が増えており、すぐに休園をせざるを得ない状況になるとは言えません。少なくとも、人数的に同程度の藤井寺北幼稚園と藤井寺幼稚園より統合が一年早期に設定されている合理的な理由が見当たりません。統合は順番に、また一部に新しい建物がある等の理由で藤井寺北幼稚園と藤井寺幼稚園統合のほうが道明寺東幼稚園と道明寺南幼稚園統合の一年後にになっていると説明会でご回答がありましたが、その理由であれば耐震性のない藤井寺北幼稚園から耐震化の済んでいる藤井寺幼稚園への統合を先にすべきではないでしょうか。

また、道明寺東幼稚園を廃園にする理由として「市を四分割して考えた地域に一園ずつ残すため」とありましたが、単純に地域を分割するのではなく、きらりキッズなどを利用している児童にも影響するのですから、現在その地域で生活している児童数をもとに考えるのが妥当です。

以上三つの理由から道明寺東幼稚園に関してはH32年4月の統合を延期し、今後の動向を見るべきです。出来ない場合は、何故できないのか三つの理由に対して具体的かつ合理的な理由をご回答下さい。

集団教育の効果について、引用されていた文部科学省の調査研究資料では「個に応じた援助」得点と「協働性の援助」得点を集計した「望ましい学級人数」についての調査でした。

これは、人数が少なすぎれば「共同性の援助」の、多過ぎれば「個に応じた援助」の得点が下がっており、単純に統合で人数が増える・収容人数に余裕があるから受け入れが可能だというだけでは教育の効果についての検証が為されているとはいえません。

今回の統合で各園が望ましい人数になる確証がないのであれば、統合理由である「集団教育の効果」という点がそもそも根拠のないものとなります。今回の統合で、各園が望ましい学級人数になるという確証はおありなのでしょう？具体的かつ合理的なご説明をお願いします。

H31年4月に入園予定の道明寺東幼稚園園区のおひる組児童16名は道明寺南幼稚園と道明寺こども園への入園・転園が可能とのことですが、現在道明寺こども園には18名のあひる組児童がおり、道明寺南幼稚園には17名のあひる組がおります。

集団教育の効果について、引用されていた文部科学省の調査研究資料では「個に応じた援助」得点と「協働性の援助」得点を集計した「望ましい学級人数」についての調査でした。

これは、人数が少なすぎれば「共同性の援助」の、多過ぎれば「個に応じた援助」の得点が下がっており、東幼稚園あひる組児童の入園や転園がどちらかの園に偏った場合「望ましい学級人数」を大幅に超過することが考えられますが、その場合はどのような対策をお考えでしょうか？予想される事態についての対策は事前に用意されるべきだと考えますので「蓋を開けてから（その時になってから）考えます」といった回答はおやめください。

統合先は耐震工事をするとのことでしたが、「計画案」についての説明会では耐震工事・エアコン導入の予算もこれから、工事計画もこれから、工事の実施は早くてH33年夏期休業時の見込みとのことでした。

予定されている統合の期日（H32年4月、H33年4月）までに耐震工事が間に合わないのでは、「計画案」策定の趣旨に記載されている「未来を担う子どもの安全確保」が為されていません。

特に、道明寺東幼稚園から道明寺南幼稚園へ移動する園児については、耐震性の問題がない建物が存在する園から、耐震性の無い建物しか無い園へ移ることとなり、大変に危険です。耐震工事・エアコン工事が終わる期日がきちんと決まってから、そこに合わせて統合の期日を決めるべきです。

幼稚園統合前は地震や台風などの災害があった場合、廃園になる園の園児たちは今まで小学校に兄弟が在籍している場合は兄弟と一緒に引き取りが可能でした。統合後はそれが出来なくなることで、より災害時のリスクは高くなります。そういった場合にどうやってスムーズに避難・引き取りを行うのかご回答下さい。これは、子供たちの安全を守るためには事前に・緻密に決めておかねばならないことです。具体的にご回答下さい。

エアコン設置に関して。2018年広報には主な施策として「市立小中学校及び幼稚園空調設備整備事業」が挙げられており「PFI手法を導入し、市立小・中学校及び幼稚園の各教室に平成31年度に空調整備の設置を行うにあたり、実施方針の作成や事業者の選定などを行います。」とありますが「計画案」についての説明会では耐震工事・エアコン導入の予算もこれから、工事計画もこれから、工事の実施は早くてH33年夏期休業時の見込みとのことでした。これは予算の表記もされていた広報の記載と矛盾するのではないのでしょうか？

愛知県において、熱中症で六歳児童が亡くなるという痛ましい出来事があったばかりです。統廃合計画とは別に、子供たちの命を守るという重大な観点からエアコンの導入は早期に行われるべきです。出来ない場合は、何故できないのか具体的かつ合理的な理由（子供たちの命を守ることでより優先されるべき理由があるとは思えませんが）をご回答下さい。

「計画案」には、移転中止後の第五保育所に関する耐震補強計画について記載がありません。幼稚園とは違い、保育園に関しては第5保育所以外の耐震工事は終わっているようですが、第5保育所に関してはどうされるご予定ですか？具体的にご回答下さい。

また、2017年11月広報によると第5保育所は現地での耐震補強工事が不可能とありましたが、なぜ不可能なのでしょう？第5保育所の周りには（市の所有地かどうかは不明にして存じ上げませんが）空いている土地もあり、工事が不可能なようには思えません。子どもたちの安全性より優先される理由があるのでしょうか？具体的にご回答下さい。

待機児童への対応は、ふじみ緑地新設保育所で対応予定とありますが、こちらの施設ができることで、現在の待機児童は完全に解消されますか？解消されるとすれば、その上でどのくらいの余裕があるのでしょうか？具体的にご回答下さい。

待機児童への対応はふじみ緑地の新設保育所で、とのことですが、こちらは民間の施設です。市が（ふじみ緑地の新設保育所のような病児保育も含めた）保育所を新設するご予定はないのでしょうか？具体的にご回答下さい。

かねてから、少なくともH25年10月にアンケート調査が行われ、H26年3月にまとめられた「子ども・子育て支援新制度におけるニーズ調査」では希望として挙げられていた幼稚園の三年保育（及び給食導入、園バス等）に関して、現段階で特に進展があるようには見受けられません。児童数の低下を統廃合の理由とするならば、当然その前に児童数確保の努力はするべきです。

私立幼稚園のニーズを奪い、私立幼稚園が廃園になる可能性があるとの説明会でご説明がありましたが、平成29年度で314人が公立幼稚園、421人が私立幼稚園に就園している状態で公立が三年保育（及び給食導入、園バス等）を検討したとして、園バスを出して他市からも児童の受け入れを行っている私立幼稚園のニーズを奪い廃園に追い込むほどの状況になるとは思えません。就園費用の違いに関しては、2019年10月（新元号元年となりますので、西暦表記とさせていただきます）から幼児教育無償化が始まりますので公立幼稚園が特に有利ともいえなくなりますので、尚更です。統廃合より前に三年保育（及び給食導入、園バス等）について真剣にご検討下さい。

統廃合については、第五保育所の引越しが不可能と判明してから計画案をまとめるのに数ヶ月しかかかっていない（であろうと思われる）のですから、「子ども・子育て支援新制度におけるニーズ調査」から今まで四年分の検討が進められていた（はずの）三年保育導入についてもそのくらいの期間で具体的な提案が作成可能なはずで、出来ない場合は、何故できないのか具体的かつ合理的な理由をご回答下さい。

幼稚園に就園する児童の人数は減ると予想していながら、保育園を必要とする人数がわからないので経過観察を行う、というのは矛盾です。幼稚園の人数が減るなら保育園の需要はますます高まるはずですし、保育園を必要とする人数がわからないなら、幼稚園に就園人数が減るかどうかもわ

からないはずですが、まさかとは思いますが、幼稚園にも就園せず、保育園も希望しない児童が増える予想なのでしょうか？

市としては市外より人を呼び込むための施策を行っているのですから、その効果も加味した上で正確な予想を立てるべきです。幼稚園統廃合ありきの予想ではなく、正確な予想をもとに方針を検討して下さい。出来ない場合は、何故できないのか具体的かつ合理的な理由をご回答下さい。

藤井寺幼稚園、藤井寺西幼稚園は平成 29 年度から平成 30 年度への移行で四歳児クラスの人数を大幅に落としています。他の園と比べても異常に減り幅が大きく、単純な少子化情勢や保育園希望のニーズが幼稚園入園ニーズより増大したことだけを理由するのは不自然です。どのような原因が考えられるか、具体的にお答え下さい。

市役所だけではわからないということであれば、在園児のご家庭や地域のかたがたに聞き取り調査などをして下さい。できない・わからないということであれば、何故できない・わからないのか具体的かつ合理的な理由をご回答下さい。

幼稚園の休園回避策を講じるための統合、とありますが「計画案」についての説明会では休園を決定づける基準は存在しないとのことでした。であれば、急遽休園に陥るという事態も存在しないこととなります。

実際に急激に児童数が低下したとされる藤井寺西幼稚園や藤井寺幼稚園、四歳児の人数が十人以下となっている藤井寺南幼稚園や藤井寺南幼稚園野中分園も休園にはなっていません。これを根拠に幼稚園の統廃合を推し進めるのは無理があると思われませんが、いかがでしょうか？

計画案通りに統廃合が進められた場合、廃園前の園は来年度から五歳児組・四歳児組で人数が大きくバランスを崩すことになる事態が予想されます。具体的には五歳児組と四歳児組の交流活動が極端に少なくなる・あるいは出来なくなるかもしれないということです。

四歳児組と五歳児組でペアになって出かける遠足、協力競技もあり、本番後はお互いの競技を交換し合ったり遊ぶ運動会、お店側、お客側を交代して行うお店屋さんごっこ、演じる側と観客側を交代で行った劇ごっこなどの行事の際に五歳児組しかいない、五歳児組がカレーを作って四歳児組に振る舞ってきたカレーパーティーにも振る舞う相手がいないということです。

四歳児組は五歳児組に大きな尊敬と憧れを抱き、来年は五歳児組で自分たちも頑張る・五歳児組になったら自分たちががして貰ったように次の四歳児組さんに優しくしようという気持ちを一年かけて育てています。それが全て意味のなかったことになる・現実不可能な夢になってしまうのは、園児たちにとって大きな悲しみです。同じ幼稚園の園庭で、毎日五歳児組は四歳児組と触れ合いながら年長者としての自立心・自尊心・優しさなどを育てています。それも望めなくなる。教育効果、という意味ではこちらのほうが余程の大きな教育効果の損失ではないでしょうか。新しく入る園児だけが影響を受けなければ良いのではありません。在園児たちにとってみれば、自分たちが入園する時には予想もしていなかったことで、自分たちが培ってきた学びの場が破壊されるのです。稚拙で拙進な計画案から逃げられない園児たちのことを考えると胸が痛みます。

2018 年 6 月広報には「この統廃合計画により影響を受けるのは、平成 31 年 4 月に入園する児童からとなります。(現在、幼稚園に在園している児童には影響はありません。)」と記載がありますが、とんでもない誤りであり、著しい認識不足です。この教育効果の損失については、どのように責任を取るお考えでしょうか？具体的にご回答下さい。「損失が出ないよう努力します」は具体的な回答ではありませんし、「多少の損失はご理解下さい」と言われても損失は多少ではありませんし、

到底理解が出来ないので意見を出しているのです。そのような具体性に欠けるご回答はおやめ下さい。)

計画案の通りに統廃合が進められた場合、廃園前の園は来年度から年長組・年少組で人数が大きくバランスを崩すことになる事態が予想されます。

その場合、PTA 活動にも大きな支障をきたします。本来、年長組保護者と年少組保護者あわせて三十二人～四十人程度で行ってきた園庭清掃や年度末の清掃、園児の為のお楽しみ会を開催するのに人手が足り無くなります。アルミ缶回収活動で補ってきた、お別れ遠足の費用も回収活動が縮小すれば各家庭に按分となる費用が極端に増大します。これは市のかたが清掃のために人手をお貸しくださるのでしょうか？お別れ遠足の費用を市が負担して下さるのでしょうか？具体的にご回答下さい。

廃園になる園は、今まで行ってきた小学校との交流が今までと同じようには出来なくなります。年長児は前年度に年長児だった一年生と交流することや、一年生になった時に小学校で支えてくれる五年生と交流することで小学校への不安を最大限減らし、安心して進級できる環境でした。こちらが大幅に減ることは、大きな教育効果の損失です。「計画案」についての説明会では、統廃合後もなるべく続けていくお考えだと伺いましたが、今までの交流と比べてどう変わるのか、交流は一体どのような形で、どのような頻度で行われるのか具体的な計画をお聞かせください。これは統廃合が行われる前に事前に示されるべき情報だと思われまますので「これから考えます」「最大限努力します」というような曖昧なお答えはおやめ下さい。

また、廃園になる幼稚園の園児にとっては、幼稚園に行くことでなれることができた小学校への通学路も通ることが出来なくなります。これは、小学校に入学後、通学途中の安全を確保するという意味で大きな損失になると考えられます。こちらについての対策（安全対策）はどのようにお考えでしょうか？具体的にご回答下さい。（「出来る限り安全確保に努めます」「最大限努力します」は具体的な回答とはいえません。曖昧な回答はおやめ下さい。）

廃園になる幼稚園の園児たちは、統合された園に通園するにあたって少なからず通学路延びることになります。園バスが無い状態で、車での通園も禁止されているわけですから、通園距離が延びることによる通園途上の危険も増えることとなりますので安全確保の為の対策が必要になると思われます。交通面での安全対策（時間帯通行禁止の道路を違反して入ってくる車輛の対策、幼稚園まで続く歩道の広い通路の確保など）については、具体的にどのような対策をお考えでしょうか。

「計画案」についての説明会では、色々な懸案事項に対し「安全対策を行っているがどうしても効果が薄い時もある」とのご回答でしたが、それでは安全が確保されているとはいえません。効果のある対策について具体的に御呈示下さい。（「出来る限り安全確保に努めます」「最大限努力します」は具体的な回答とはいえません。曖昧な回答はおやめ下さい。）

廃園になる幼稚園の園児たちは、統合された園に通園するにあたって少なからず通学路延びることになります。園バスが無い状態で、車での通園も禁止されているわけですから、通園距離が延びることによる通園途上の危険も増えることとなりますので安全確保の為の対策が必要になると思われます。交通面での安全確保も勿論必要ですが、真夏は朝 7 時の段階で気温が 30 度になることもあります。その場合、地面（アスファルト）の温度は 60 度になり、背の低い（地面から近い位置

に頭部のある)子供たちはより暑さを感じる為に熱中症の危険が高まるとされています。
自転車で通園できるご家庭ばかりではないと思われまますので、園児たちが酷暑の中で長い距離を歩くことになれば、大変危険です。具体的な安全対策について御呈示下さい。(「出来る限り安全確保に努めます」「最大限努力します」は具体的な回答とはいえません。曖昧な回答はおやめ下さい。)

幼稚園の第一次再編実行チャートでは、幼稚園の統廃合が終わった後に一年かけて後期計画を検討するとありますが、とりあえず統合してその後のことはそれから考えるというのはあまりにも無責任・無計画です。休園の根拠もなく、統廃合によって「個に応じた援助」「協働性の援助」双方の教育効果が適切に得られるのか不透明なまま前期計画を急がせるのは不当です。統廃合で落ち着いた後に、例えばこども園や幼保一体化を推進することに決定すればまたそこで大きな混乱が生じます。第五保育所の移転の件から、乳児・幼児を抱える家庭はずっと行き当たりばったりな市のやり方によってずっと落ち着かない・大きなストレスを抱えた状況に置かれています。大人にとっては、たった一年でも乳児にとっては大きな一年です。少しの時間も無駄にすることのないよう、事態を動かし始める前にきちんとした計画を立てて下さい。

今回の計画案には子どもや子供を持つ家庭にとって不利益を被るばかり点や矛盾点ばかりで、とても承認し得ない内容です。今回の計画は文部科学省や専門家の方々とも相談し、今回のパブリックコメントの内容などを精査した上で根本から見直すべきです。この計画を強行することに関しては、到底理解が出来ないのでコメントしているのですから、「最大限努力をしますのでご理解下さい」といった具体性に欠けるご回答はおやめ下さい。

No.30 女性 30歳代

西幼稚園、南幼稚園の園長先生2人共が3年保育を希望されており、藤井寺市に要望を出しているが取り合ってもらえないと2人ともおっしゃっておりました。園長先生の意見が通らないのはどういう理由からでしょうか？閉鎖される西幼稚園の園長先生や先生方は来年からどこで仕事されるのですか？

先日、南幼稚園で説明会に参加させて頂き、3年保育をまず実施して欲しい、実施後の人数推移を確認してから統合計画を進めても良いのではないかと提案しましたが、意味不明の説明だったので納得に至りませんでした。意味不明の説明をダラダラと聞きながら天井を見上げると沢山の亀裂が入っていました。統合され本園となる幼稚園がボロボロ…行政は公立幼稚園に対して本当にお金を掛けようとしないのでですね。園児が私立幼稚園に流れる理由の1つだと思います。

3歳になると毎日外遊びをしたがります。2人目の子供が生まれる時期です。真夏の暑い最中、赤ちゃんを連れて上の子を外遊びに連れて行くのは危険です。3歳から幼稚園に行けたらなあ…日々思います。でも私立に行かせるのは金銭的に厳しい。あと1年、上の子に我慢させる事も多々ありますが、無料の児童館に赤ちゃんを連れて電動自転車で日々奔走しています。この苦勞、行政の方々に分かりますか？前に座られていた方々は堅そうな男性ばかりでしたね。女性もいらっしやいましたが、最後までお声は聞けませんでした！

来年持ち上がりで年長さんになる園児は幼稚園を選択出来るとの事…
クラスで園児が1人になったらどうするんですか？わざわざ遠い本園に行きたいと思いませんか？

妥協しろという事ですか？

うちは南幼稚園校区なので関係ないと言えばそれまでですが、自分がその立場に立てば、言いたい事はこれだけにとどまりません。行政の方々は数字だけ見て判断していませんか？このパブリックコメントをわざわざ開いて、身元を晒してコメントをする方がどれだけおられるでしょうか？年配の方だと余計に意見しづらい環境ですよね。いくら SNS が流行っていても忙しい主婦は中々目にする暇は無いんです！

長々と書きましたが、私の意見はこうです。

幼稚園は現状維持。

各幼稚園にエアコン設置、耐震工事至急。

お金が無いなら役所の人数を半分に減らして、業務は外部に委託。

1 円の無駄もないか血税の見直し。

以上。

國下和男市長に是非見て頂きたい私の意見です。

No.31 女性 30 歳代

1.今、幼稚園の送り迎えの時間が木曜日と金曜日が小学 1 年生の子どもとかぶっているので、犯罪抑制になっているのですが、今後幼稚園がなくなると、パトロール的なことを保護者に負担をかけずにどのようにおこなって頂けますか？

2.親としても通ってる幼稚園が廃園になることは、さびしいですが、卒園した子どもたちも含めて心のケアはどのようにして頂けますか？

3.東幼稚園では、園児のクラス側は、耐震工事が終了していて、夏は遊戯室を上手く利用して過ごしていますが、南幼稚園の耐震工事と空調整備で多額の税金を使い、小学校中学校の空調整備の工事ができなくなることは、ないですか？

4.南幼稚園、子ども園に行く場合、平均徒歩 40 分自転車 20 分かかりますが、下の子が 1 歳未満の場合、自転車に乗れないので徒歩になります。ベビーカーに乗ると地面から近いので、熱中症リスクはあがりますがどのように通園したらいいですか？下の子のリスクをどのように考えておられますか？

5.遠くなることでの送り迎えの保護者の負担をどのように考えておられますか？

No.32 女性 30 歳代

市は、預かり保育の導入のみで園児が増加すると思っているようだが、働くなら 3 年保育の園の預かりを選ぶ人が多いと思う。

後期の計画で 3 年保育と給食導入を検討するそうだが、後期までに、人数が減ってしまうのではないか。その後、後期で検討するのでは、その間で通う子どもたちにとっては家からも進学する小

学校とも遠く、デメリットの多い2年になる。

統合と共に3年保育を検討し、確実に園児数を確保すべきだと思う。

No.33 女性 40歳代

子供を野中分園に通わせています。今でも本園との合同保育日が大変です。近くに二年保育の幼稚園があるのを調べて引っ越して来ました。それなのに合同保育の日の多い事。子供にとっても暑い日、雨の日、負担になっています。来年度から毎日、お弁当を作って持たせて、本園登園絶対に大変だと思います。

お弁当を作るのが大変、昼で帰ってくるのが大変とか行事に参加するのが大変とかで私立に入れようと思える時代。もっと、お母さん達の意見を取り入れて決めて欲しいです。

この前の市の人の説明はなげやりに感じました。

少人数での良いところの否定。少ないからダメ、やっていけないから、他と合わせて合併。納得できる物ではありませんでした。

野中分園は地域の人達とのコミュニケーションも大事にできてる所だと思います。自治体とのコミュニケーションの大切さが叫ばれてるなか、藤井寺は反対をいくのでしょうか？

No.34 女性 60歳代

今回の前期計画では預かり保育の導入のみの実施で、園児が増加すると見込んでいるようだが、後期計画まで待って3年保育を検討しては、それまでの4年間で公立幼稚園が入園者が減ってなくなる事も考えられるため統合を機に3年保育を実施すべきだと思う。

藤井寺市内の私立と公立で園児の取り合いになる事を気にしては、他市にとられ藤井寺市の幼稚園としての教育は残せなくなってしまうのではないかと思う。

No.35 女性 50歳代

子育て中の保護者は子どもの教育については真剣に様々な考えで将来どうするかを考えます。

年度始まってからの告知では戸惑い不安を抱かれ不満が爆発するのは当然のことです

市民の生活設計は行政に委ねられています。サービスを提供される側には責任が伴います。

時代の流れで不変は無理としても大きな変化をもたらすならば関係する全ての機関が十分話し合い責任を押し付けることなく、市民が納得できる対応策を策定されてから計画を公表すべきだと思う。

いずれは統合による再編は必要だと思います。しかし、急ぎ過ぎるが由に、幼稚園の経営方針が未定のまま、計画を実行に移すことには反対です。

特に道明寺地区においては、状況に違いがあり再検討すべきです。

No.36 女性 30歳代

幼稚園説明会出席させていただきました。説明会ありがとうございました。説明をきき、計画書を拝見した上で、いくつか疑問が出てきたので、筆をとらせて頂きました。

説明会の様子を録音していましたが、市役所の方々が話をされる時はマイクで話しをされ、保護者が意見を話す時はマイクなしでしたが、保護者の意見はきちんと録音器機に入っていましたでしょうか？小さい子の声もあった中、市役所の方々が筆を一切動かされなかった中、意見が皆さんに届いているのか疑問に思ったので書かせて頂きました。

実行計画の中で、人数減少による統合である事、一クラスの望ましい人数の事などは触れられていたのですが、通園路や通園が遠い子に対してどのようにしていくかなどの説明が一切なかったと記憶しています。我が子が通うのは藤井寺幼稚園。受け入れる側なので距離に変更は無いのですが、遠い園児で、2.2 km程距離があると説明会の中でおっしゃられていました。距離は把握しているのに、それに対する措置をまだ話しされないとは、どうなっているのでしょうか。そして、案に目を通して行く中で、平成30年4月11日に開かれた平成30年度第1回藤井寺市総合教育会議も読ませて頂きました。その中で、3年保育や預り保育実施についてアンケートをとられていましたが、周りの市も大切だと思いますが、まず、藤井寺市内に住む子どものおかれている実状に見を向けられてはいかがでしょうか？

まず、保護者が幼稚園を選ぶ基準として3年保育が重くのしかかってきます。藤井寺には特に子どもが自由に遊べる公園が少ない事。子ども達の関わりを求める親として、また今の世の中、私達親は3年保育ありきで園を選びます。子どもが少しでも園に行っていれば、働きに出ることができます。すると次に保育時間を重視します。パートとしてどれだけ働けるかが重要になるからです。保護者の中には、やはり保育園よりも幼稚園に通わせたい。そして私立よりも公立にと求めている親は実際は多いと思います。ただ、今の世の中、旦那だけのお給料だけではしんどくなりつつある中で、働かざるをえない人もいる中で、2年保育、3時お迎えの公立幼稚園を選ぶという事は難しいと思います。

園を統廃合するので、今いる先生方はあぶれる方もいらっしゃると思います。それならば、3年保育にして、クラスが1クラス増えても教育数が足りないという事態にはならないと思います。

そして、先程も触れましたが、藤井寺には子ども達のがのびのびと遊べる場がほとんどありません。公園と名がついていてもただベンチが置いてあるだけのところが多々あります。ましてや今年は猛暑。暑い中で公園では親も「遊びに行きなさい!!」とは言えません。そうすると涼しい室内でゲーム漬けの日々というのも多くなってしまいます。子どもの身体能力と学力は切っても切れないものだと思います。子ども達が室内で、体をのびのびと動かせる施設を作ってもらえませんか??周りの市、そして最近では、寝屋川市の方で室内施設がオープンしたとネットニュースで見ました。私達子どもを育てている身としては、他市ではそのように子どもの事をしっかりと考えられているのにな…と他市県から越してこられた方はまず子どもの遊び場の少なさにびっくりするそうです。統廃合で親のニーズに少しでも目を向けてもらえるのであれば、こういう所にもしっかり目を向けて“子育てのしやすい町 藤井寺”を目指して行ってもらいたいです。

統廃合がはっきり決まっていないから動けませんではなく、保護者がきちんと納得するようなメリットも答えてもらいたいです。

この統廃合で、市も保護者も相方が互いにゆずり合い納得できる形にすすむよう願っています。

No.37 女性 40歳代

先日、南幼稚園での再編説明会に行ったのですが、何の説明にもなっていないように思えました。紙を読んでいただけ、私達の質問にも答えてくれない。このまま無理やり進める感じがしました。

今は12人のクラスに居るのですが、望ましい学級人数と言うのは何の説得力もないと思います。まだまだ手のかかる子供達、色々な行動や遅い行動など1人1人ちがうと思います。それを集団のおりの中にとじこめようとしているように感じました。2年保育を少ない人数とする事も大事なことだと思います。私立はプラスのお金を出してプラスの学習をさせてもらったらいいと思います。とりあえず水よう日も午後保育したらいいと思います。働けるお母さんも増えると思います。働く=保育所というのは保育料のために働くようになってしまうからです。今の分園の施設がもったいないです。

No.38 女性 年齢不詳

藤井寺市には、こんなにも公立幼稚園が多く、また1クラスの人数が少なく空き教室が多いことに驚いた。10人をきっているクラスでは、出来ることも限られてくるのではないか。もっと早くからこの統廃合の検討はされるべきであったと思う。

一方、保育所は定員を超え、待機児童も発生している。今の時代、保護者のニーズは保育所にあると思う。保育所に通わせている親からすると、家から近く、通いやすい保育所が定員オーバーになると、遠くても入れる保育所に行かせないといけない。

幼稚園では、希望の園に必ず入ることができ、子どもが実際に通う小学校との交流もできると思うが、保育所にはそのような選択肢もなく、自分の校区とは違う友達や小学校との関わりになってくる。そのようなことを考えると、幼稚園の子ども、保育所の子どもはもっと平等に考えられるべきであり、幼稚園にこれだけ空きがあるのならば、そこで保育の必要な子どもを受け入れる体制をとってもらいたい。

No.39 女性 40歳代

保育所の待機児童の解消が優先で、公立幼稚園は正直あまり目が向けられないのかもしれませんが、藤井寺の公立幼稚園は保護者の評価や満足度が高い傾向にあると思うので、この魅力に気付かず、価値が高い教育の場をないがしろにしてしまうのは、藤井寺市の価値も下げてしまうと思うので、どうしても統廃合しなくてはいけない状況ならば、本当により良い幼稚園を築き上げて頂きたいです。そのためには、始めの段階から現場の状況をわかっていच्छる、先生方の意見を一番に取り入れるべきだと思います。

公立幼稚園の人数の低下は、3年保育にしなかったことが、一番の理由だと思います。統廃合しても、預かり保育実施だけでは、通園距離も遠くなる方が多いですし、人数がより減ってしまてではないか不安に思います。第二次計画とありますが、短期間の内に色々と方針をころころ変えて一番大変なのは、現場で働いてる先生方や子供達なので、第一次の段階で本当によく考えていただきたいです。

子供の教育環境というのを一番優先に考え、それによって住む場所を決める家庭ということも大変多いと思います。少子高齢化が急速にすすむなか、藤井寺市も質のよい教育環境を作り、藤井寺の人口が増えていくような魅力ある取り組みをして頂きたいです。

No.40 女性 30歳代

市が行った現状把握の子育て施策のうち特に長時間保育へのニーズが増大しているという分析から、預かり保育を取り入れようとしています、「長く」と同じくらい「早く」も必要と考えます。ですので、預かり保育と3年保育はセットで実施すべきだと考えます。

市立幼稚園の利用者数低下の記載について、私立幼稚園の利用者が400人前後ではほぼ一定しているのは、以下の理由から私立幼稚園を選択されている家庭が多い

- ・そもそも子供を遊ばせる場所が少ない（公園が少ないなど）
- ・公園も遊具が少ない、ボール遊びダメ等の規制が多く自由に遊ぶことができない
- ・3歳、4歳ぐらいになると小さい子供さん向けが多い支援センターでは物足りなくなる

つまり、市立幼稚園が3年保育を導入することにより、市立幼稚園が選択されるニーズは多分にあると考えます。

また市立幼稚園も3年保育、預かり保育をすれば「待機児童が居て入れない」「パートだと時間の壁があり入れない」等保育園を希望しても入れない方々も保育園以外の選択肢が増え待機児童も少しは減る可能性もあります。

園舎の老朽化等の問題も、小学校に幼稚園を併設する事は出来ないのでしょうか？少子化で児童の数が減っているのであれば、空き教室があるのではないのでしょうか？小学校に幼稚園を併設できれば、耐震、エアコン、小学生との交流、プール交流、通園路の安全確保、給食等の問題は解消できると考えます。

市立幼稚園の統廃合で廃園になってしまう地区の在園児は、そもそも数が少なくなってしまう恐れがあるため、懸念されている集団教育に支障をきたす人数になってしまう可能性があり、統合で解消するメリットと矛盾が起きてしまわないのでしょうか？

再編実行計画自体が案として意見を伺うと言う前提であれば、6月の広報に掲載して2ヶ月程度で結論を出すには、理解し、考える時間も無いですし、意見の中で試す価値のある内容もあるかと思しますので、意見を勘案して実行できる物を試してもらいながら数年先単位で結論を出して欲しいです。

No.41 女性 30歳代

今回の統合についてあまりにも唐突で準備不足、一番影響を受ける園児や保護者のことを考えていない政策のように思います。説明会でも保護者からの質問に明確な返答がなされず、本気で統合を目指しているのか疑問でなりません。

現在開始されているあひる組の園児たちが、来年度幼稚園を選択制にさせられ、バラバラに幼稚

園に通うようになったとしても統合を進める必要はありますか？

No.42 男性 30歳代

園児の減少に対して、市として何か対策はなされましたか？少なくなってきたから統合して園児を増やすという考えは簡単に考えすぎていると思います。3年保育や預かり保育など減少を食い止められる政策があったのではないのでしょうか。

No.43 男性 30歳代

策定の趣旨について

?市町村の責務として、多様な施設又は事業者の中から保護者が選択できる体制の確保が求められております。?とあるが、今回の再編実行計画による統廃合は保護者の選択肢が減ることになり矛盾しているのではないかと。

市立幼稚園の利用者数低下について

近年、私立幼稚園等の利用者数が約400人前後でほぼ一定しているということは、幼稚園自体にはまだまだニーズがあり、現在の市立幼稚園に魅力を感じられないから私立幼稚園の方に利用者が流れているのではないかと。3年保育や給食の実施など私立幼稚園と同等のサービスが提供されれば利用者数が増えるのではないかと。

利用者数が増える施策の検討がされていないのに統廃合だけ先行するのは、保護者にとって通園路が遠くなるなどのデメリットが増えることから、逆に利用者の減少に繋がるのではないかと。

No.44 女性 年齢不詳

説明会にも参加し、他の説明会のご意見も読ませていただきました。私は公立幼稚園が減ってきている要因をどのように捉えるかが大切だと思っています。各小学校区につくられ、歩いて通え、家に帰ってからも幼稚園の友達関係が継続でき、親同士も交流を深められる。また、小学校との交流も深められる。経験豊かな先生が、ひとりひとりの個性（障害を持っている子どもも含めて）を把握し、伸ばすための援助をする中で、自己有能感をもち、協力し、自主的に行動できる子ども……など各園で研究課題を設定し、研究保育などで指導主事の先生などから指導を受けたり、職員同士で話し合う。そのような経験を積み上げ、わかったことを保護者へも啓発してきているのが公立幼稚園のいいところではと思っています。

保育料も比較的安いし減免制度もあり、低所得者の人達にも通園させやすい。こんな公立幼稚園なのに減ってきている要因は、市のみなさんも言われていたように母親も働きたいので、保育時間が長いほうがいい。子どもが小さくても預けて働きたいや兄弟や子どもが周りに少ないので3年保育を希望されておられる家庭が増えてきていると思っています。ただ、私が小さかった頃より共働きが増えている要因が、女性が仕事をもって働ける世の中に進歩してきたからな喜ばしいのですが、

派遣労働他低収入の家庭が増える中、幼児期や小学校低学年から習い事や・熟にいかせる家庭が増え、そのために母親も働かざるを得ない家庭が増えてきているのではと感じる面もあります。公立幼稚園では2年保育しかない、パートぐらいでは今は保育所には入れないので私立の幼稚園や保育園を選ばざるを得ない現状だと感じます。働きたいと思われておられる実態が多いと市の皆さんも理解されておられるのなら本来は保育所を増設すべきではないでしょうか？

でも耐震化もすぐにできない藤井寺市。この酷暑の中でもエアコンのない学校など藤井寺には予算がない答えられることでしょうか。

そんな中だからこそ統廃合のための審議ではなく、公立幼稚園で3年保育を実施に向けての話し合いを進めていただきたいです。空き部屋もあり、幼稚園の園児が募集定員が満たない今の時期だからこそ、3年保育を実施できるチャンスだと思います。もし公立幼稚園の定数一杯なら3年保育は部屋を立てることからで予算も高額になると思われます。新婦人としては、何年間も3年保育を要望してきましたので是非とも来年度実施に向けての審議をお願いしたいです。

市の方がそもそも行政は必ずしも民間と競争するべき組織ではない。就園率の向上を目指し・・・・・・公立で3年保育を実施すると民間に大きな影響を与えることになる。行政としては公立も民間も両立していかなければならないため、今すぐに結論を出すことはできないとか今あるすべての公立幼稚園で3年保育を行うと甚大な影響を与えてしまう。ただそれが悪いというわけではなく、その結論を出すにはもっと検討が必要であるということ・・・・・・と答えておられますが民間だけ3年保育があり公立が2年保育しかない状態こそ不公平行政だと私は思います。公立に3年保育がないので仕方なく民間に入園させている保護者の皆さんがおられることこそ不公平だと思います。また公立幼稚園での3年保育が始まったからといっても民間が甚大な影響を受けるとは思いません。

例えば、間違っていたらすみません。カトリック幼稚園は宗教色のあるという特徴を入園の理由に挙げられている保護者は、たとえ公立幼稚園が3年保育が始まってもカトリック幼稚園を選ばれることだと思います。他の民間の保育園や幼稚園も同様だと思います。入園の契に公立にはない各園の特色ある教育方針がいいと思って公立ではなく民間を選ばれているのではないのでしょうか？私が民間の経営者なら、公立幼稚園でも3年保育を始めることには賛成します。公立幼稚園での3年保育がないから仕方なく民間を選んでいる保護者は、きっと公立幼稚園にかわれるでしょうがその数が甚大な影響とは思わないからです。民間の内容は、民間で自由に特色をだせるので各園で特色をだされておられ自信をもって保育されておられると思うからです。在職中、研究会で発表された民間の保育実践を羨ましいと思ったことがありました。

だから甚大な影響と答えられた内容が私にはわかりませんし、もし公立幼稚園に3年保育が実施されたら民間の経営に甚大な影響と思われる発言なら民間の経営者の方が怒られるのではないのでしょうか？

私は、個人的には、時代の変化で、兄弟数も減り、近所付き合いも減り、小さい時からお稽古や塾にかよっている子どもが増えて、私たちの子ども時代に体験した異年齢での遊びなどが減ってきているなかで 母親の就労の有無に関係なく、全ての子ども達が長時間保育を受けたほうが子どもの成長発達にいいという時代がくるように感じています。

また、民間が高い、公立は安いではなく、民間には私学援助金も出して、保育料格差も少なくして、保育内容で保護者の方が選ばれることができるようになるといいなと思います。子どもの成長にとって、親の接し方はもちろん初めての集団保育の中で影響されることは大きいと感じています。どんな子どもに育てたいか、どんな子どもに育てたいかなどによって幼児期をどのように過ごさせるかなど親になられた皆さんがしっかり考え、園選びをされ 子どもの成長を見守っていく若

い人たちが増えるといいなと思っています。そのためには、貧乏な市には、大阪府や国からの援助を増やしてもらうための働きかけを市としても強めていただきたいです。

No.45 女性 30歳代

6月広報に小さく幼稚園の統廃合の方針が出されてから2ヶ月が経ちましたが、市からは統合後の通園路について具体的な回答がなく、年少から藤井寺南幼稚園を選んだ場合、来年度から安全に通えるのか不安が大きいです。10月の入園申し込みまでに通園路や耐震補強のことがはっきりと決まっていなと、保護者は幼稚園を安心して選べません。耐震の診断も3年前に行われていたにも関わらず、耐震補強の工事が行われなかったことが今回の統廃合でわかり、保護者は市に対して不信感を募らせています。

ハザードマップは体制が一新されてからということですが、それでは遅く、10月の入園申し込みまでに作成すべきです。

一校一園という、藤井寺市の公立小学校と公立幼稚園の素晴らしい仕組みを統廃合によって変えざるを得ないのであれば、幼少の交流の新しい形を具体的に提案して、こどもたちと保護者に示すべきです。

現在、幼稚園に在園している児童に影響はありませんと6月広報に書いてありますが、来年度いまの年少が年長になったときに、藤井寺西幼稚園に年少が入園しなければ、異年齢交流が行われず、大きな影響が出てきます。広報に影響はありませんと書いたのであれば、影響がない計画を立てるべきです。

統廃合後も預かり保育だけではなく、藤井寺市の保護者ニーズをきちんと調査し、公立幼稚園から園児が減らないように、むしろ増えるような魅力的な改革を行うべきです。

保護者からの信頼回復のためにも、こどもたちの立場に立った計画作成をお願いします。

No.46 女性 40歳代

道明寺東幼稚園と道明寺こども園、道明寺南幼稚園の3園の道明寺東幼稚園に入学する子たちの交流会は、片道40分歩いていくことなど、今年の天気を見てもありえないので、バス等、順備してもらえないですか？

小学校との交流会だけでなく、園児同士の交流会（東小に行く子）も別に持ってほしい。お互いに顔を忘れないように、一緒の小学校に行くって気持ちを持ってもらいたい。

道明寺東幼稚園がなくなった後、交流会はどこで行う予定ですか？小学校にその時だけでも、場所を作ってもらったりするのですか？今の東幼の場所が使えたりするのですか？道明寺南幼の耐震をもっと早くしてあげて下さい。お金の関係等あると思いますが、やはり命には変えられないと思います。

南幼の通学路の伴、対策考えてください。車の多さが、やはりキケンです。

東幼に残る子が少なくなったり、2園だけになった後、1:9の割り合いになっても、これから先もずっと交流会は残してください。小学校に上がる不安や心配を安心につなげてもらう、大切なも

のだと思います。

よろしくお願いします。

No.47 女性 50歳代

多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、時に我慢するなど、人とのかかわりの中で気づいていくことが、幼児期には何より重要であると、文部科学省の小中学校何とかなの手引きで読んだ記憶があります。まさに、私も小中学校において、人とのかかわりを通しての社会性の醸成は学習能力と並んでもう一つの重要な柱であると考えます。(近年、コミュニケーション能力の低下が叫ばれている状況の中では、より重要になってきているように思います)

このような、非認知能力の醸成が就学前の幼稚園や保育所において、どのように位置づけられるのかを考えると、小学校以上に重要であるというか、このこと、すなわち、非認知能力に代表される社会性の醸成こそが、幼稚園等で考えなければならない根幹に関わるひとつであると思っています。

一方、幼稚園の状況は、再編実行計画にも記されているとおり、少子化と共働きの増加によって、就園児数は減少し続けています。これは、まさに時代の流れというもので、(誰もがスマホを持つ時代となり、書籍の地図を持たなくなったように、) 園児数が減少するのは、ある種、この時代における必然です。

今、行政(行政だけではないですが)に求められているのは、時代を読み、いかに手を打つか、今回、幼稚園8園が4園に再編する旨の実行計画(前期計画)が示されていますが、打ち出すのが遅いくらいです。これから、実際に統合されるまでの2~3年間に通う園児は、少ない人数の中で社会性が醸成されるのか心配です。(だから、もっと早く統合しておくべきだったのです)社会性を身に着けるには、多くの園児がいる集団の中の個を意識させる集団教育が何よりも重要であると考えます。また、他市では、幼稚園の民営化が進められているのに、どうして、藤井寺市では進まないのでしょうか?

民間にできることは民間に、どうしても公がしなければならぬ施策を公にさせるということではないのかと思います。民間にしてもらうことで、浮いた財源を公がしなければならぬ他の政策に回すべきです。

そもそも、学校の前身である寺子屋は、民間であったと記憶していますが・・・

以上

No.48 女性 60歳代

何年も前から幼稚園の統合の噂を耳にしていたので、やっと具体的な計画になったのかと思いました。前期計画を読ませていただきましたが、現在の年少さんが10人を割っている園もあるのですね。少なさに驚きました。山奥の幼稚園なら分かりますが、このような市で10人を切っている状態は異常だと感じます。集団教育の効果に支障をきたすとのことで統合を計画されていますが、全くその通りだと思います。

保護者説明会の会議録に目を通しました。その中で、小学校の隣から幼稚園が無くなることによ

ってせっかくできた友達と同じ小学校に通えないことを心配する方が大勢いらっしゃることに驚きました。

小学校には保育園・私立幼稚園などから沢山の子ども達が入学します。あまり社交的でない子も、違う幼稚園や保育所から入学した子たちときちんと仲良くなれます。子どもの適応能力は大人が想像するもの以上だと思います。友人と離れば、また違う友人を作るものです。

個人的には、少人数で固まってばかりの二年間を過ごした子ども達が、突然大勢の中に放り込まれる方が心配です。10人以下の人数で過ごしていて、大勢に対応できるような力がつくとは思えません。

また、公立の良さについての話も出ていましたが、小学校の隣にある等の立地のことや、小学校との交流等ばかり挙げられており、普段の保育に関しての良さがあまり話されていなかったように感じます。小学校の横になれば幼稚園では子どもを育てられないのでしょうか。普段の保育についての話が出てきても、少人数だからこそできているとのことでしたが、多い人数でもそのようなきめ細かい保育をするのが普通ではないかと思います。

幼稚園教諭の方も、園に通わせている保護者も、現在の園児数が普通だと思い込んでいるような気がします。現在の幼稚園の園児数は少なすぎます。

No.49 男性 60歳代

第五次藤井寺市総合計画では、将来像を「つどい つながり 育つまち」とし、基本目標の一つ「住みたいまち」の中で、「子育て世代にとって安心して子どもを生み、のびのびと育てられる環境を充実します。」としている。藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画（前期計画）（案）は、財政論からの縮小均衡案と考えられ、総合計画の子育て世代のニーズに応える方針に合致していない。子育てしやすい環境を整えて、流入人口を呼び込みたいとは正反対のように思える。

藤井寺市の幼保の現状は、共働き世帯の増加と専業主婦の減少というライフスタイルの変化に伴い、幼稚園の需要は衰退し、保育所の需要は増大しています。そのため、幼稚園施設は余剰となり、保育施設は不足気味です。藤井寺市の施設は、今や全国で標準化しつつ在る幼稚園の3歳保育が成されていない、保護者の月48時間就労の入所基準が満たされていないなど、子育て世代のニーズに応えていない。まるで、藤井寺市には住んで欲しくないと言わんばかりである。

フィンランドは1990年代の経済危機の折、若い教育相はこういふときだからこそ教育に投資すべきだと国民に説き、教育改革を実施し、今や学力世界一（PISA）となり、結果、経済競争力も世界トップクラスの国となっています。

極論すれば、藤井寺市が衰退するか、活力の在るまちとなるかの境目に在ると言える。

藤井寺市が真っ先にすべき事は、子育て世代のニーズに応じて、保育所の入所制限を緩和し、幼稚園教育を3歳にまで拡大し、不足する保育所需要・余剰ある幼稚園需要のミスマッチを解消する幼保を隔てる壁を取り去る幼保の一元化し、幼稚園教育を3歳にまで拡大することである。通園がより遠くになり、より身近で無くなる、幼稚園の統合では無い。重要なのは子育て環境の更なる充実である。都市間で、子育て世代人口の奪い合い競争になることも考えられる。

統合が計画されている藤井寺西小学校区の幼保施設について当て嵌めてみる。西小学校区は、0～2歳児が167名、3～5歳児が187名いる。0～2歳児で保育所の需要は40%、3～5歳児で幼稚園と保育所合計の需要は100%とすると、0～2歳の保育幼児が67名、3～5歳の保

育児童が187名、合計252名の保育児童の需要が見込まれる。校区内の官民の1幼稚園と2保育所の定員合計は265名で、充足率は95%となり、増え続ける共働き家庭（60%超）にも対応できる。

まず、藤井寺西幼稚園を真の幼保一体化を図り、週就労48時間規制の緩和分の0～5歳児の長時間保育、3歳短時間保育を受け入れる。重要なのは長時間保育と短時間保育を1つのクラスで行うことにある。別々にクラス分け（幼保分離）を行うと、統合により小学校区より幼保の通園距離が長くなるという逆転現象が起こり、身近な施設では無くなる。次の段階で、幼稚園を保育所に転換し、全ての保育所で長時間と短時間保育を分離せずに行う。最終的には、欧米先進国の保育水準に追いつくよう、1職員辺りの保育児童を少なくする。

子育て環境を充実させ、子供に惜しみなく投資することにより、藤井寺市の明るい未来が開け、閉塞感漂う日本に希望の光が見えてくるものと思う。

幼稚園の園児数が激減するまで、無為無策のまま放置し、統合を余儀なくさせた、国の責任は極めて大きい。一方、共働き世帯の急増に対する後追い行政も、幼稚園の過剰と合わせて、国民サービスに対する責任に真摯に向き合っていない。幼稚園を管轄する文科省と、保育所を管轄する厚労省とが、縦割り行政、縄張り争いが、預かり時間が違うだけで保育内容が殆ど変わらない幼保の一体化という国民サービスへの対応を怠ったと断じざるを得ない。

子供への国からの投資は国際的にみても低レベルであることから、未来を担う子供たちに対して、票にならないからと、政府が重きを置かなかつた積み重ねの結果である。正規、非正規の差別環境を維持したまま、派遣業種の拡大等により、親となる世代の貧困を招き、逆に少子化に拍車を掛けた。

長期に政権を担った自公政権の無為無策の責任は深刻と言わざるを得ない。コペルニクスの転換を願う。

No.50 女性 30歳代

平成32年には北幼稚園と藤井寺幼稚園のどちらを選んでもいいと書いてありますが、どちらかを選ぶのはやめてほしいです。

今まで北幼稚園に子供達が次々7年通ってきました。私は下の子も北幼稚園に通わせたいです。隣に学校もあり、交流もあり、本当に子供達はその中で育ってきて、感謝しています。公立に行く子供達は少なくなっていますが、統合する前に、どうして公立に子供達が来ないのか、保育園や私立の幼稚園に子供達が行ってしまうのか考えてほしいです。

働くお母さん達が増えてきているのも事実です。今の時代にあった公立幼稚園になるように考えてください。

統合の前に3歳児保育、延長保育を是非取り入れて下さい。私立の幼稚園には延長保育、3歳児保育があるから行かせるのです。子供達が沢山行っているのです。公立の幼稚園に沢山の子供達が来るように考えてほしいです。

北幼稚園をなくしてしまうのはもったいないです。私は今年で7年通っていますので、どれだけ公立の幼稚園が良い所が沢山あるのか知っています。他のお母さん達もそうです。平成32年には下の子も幼稚園に入りますので、今後どうなるのか不安でたまりません。一刻も早く統合を辞めて、3歳児保育、延長保育を取り入れながら、公立の幼稚園を残して下さい。宜しく願います。

良い結果になるよう祈っています。毎日本当に不安です。どうか宜しくお願いします。

No.51 男性 30歳代

藤井寺市の幼稚園はがらがらで人がいないと思っていたが、ここまでとは知らなかった。説明会の記録などを読むと本当にいろいろなことを言っている人がいるが、そこまでして8園もの幼稚園を守る意味があるのかとても疑問である。

公立保育所は定員591人のところに626人が押し込められているのに幼稚園は定員840人の園を314人で使っているという。この数を見て、統廃合が必要でないと思う人間がいるのだろうか。

公立の幼稚園を利用している保護者は反対するだろうが、他の市民がこの状況に納得しているとはとても思えない。同じ藤井寺市のこどもなのに保育所と幼稚園の格差がひどすぎる。

本当に市民のためを思うなら今すぐに1園でも2園でも幼稚園を保育所にするべきではないか。横に小学校がなくなるとか、統合の前に3年保育をやればいいのか、自分たちのことばかり言ってるが、幼稚園さえ残ればほかはどうでもいいというのか。この多すぎる幼稚園を維持するのも3年保育をやっていくのも他人の税金を使って行われることを少しは考えるべきだと思う。そんなに3才から子供をあずけたいなら私立があるではないか。私立はいやで公立がやってくれないから困っているなんていうのはぜいたくすぎる悩みだ。公立でやる分の負担はだれが背負うのか。この時代に税金を使ってやれというなら他の納税者を納得させられるだけの理由がなければいけない。保護者が求めているからなんていうものは理由にはならないだろう。保険料の引き下げを求めれば市の保健課は聞いてくれるのか。そのしわ寄せはどこに向かうのか。幼稚園で3年保育・給食・通園バスを入れるならそのお金で保育所をもう1園増やすべきだと思う。

幼稚園を守りたいという気持ちは理解できる。しかし物事には限度というものがある。保育所にくらべて施設が多すぎる。それが適切だというなら保育所もいまずぐ3倍に増やして格差を解消してほしい。そんなことできるはずがないとわかっているからみんながまんして子供を通わせている。親の介護をしている人間も、ひとり親で経済的に困窮している人間も、もっと助けてほしいと思いつながらがんばっている。それを知っても幼稚園だけを残せというのか。

自分の友人にもそういう親がいるが、朝から晩まで働いている保育所の親が、どんな思いで保育所に子供を通わせているのか幼稚園の親は知っているのか。希望すれば公立にも私立にも入れる幼稚園とちがい、保育所は入れるかどうか分からない。保育所の親はそんな恐怖と戦っているのに、ほんの数メートル通園距離が伸びるから反対という人たちはどれだけ恵まれた生活をしていらっしゃるのだろう。あまりの価値観のちがいに読んでいてめまいがする。保護者の意見を聞けというなら幼稚園の保護者以外の市民の意見もぜひ聞いてもらいたい。

小学校のことがやたら言われているが、保育所の子供だってみんな同じ小学校に上がるわけじゃないし、入れる園をさがしたら遠くはなれた場所まで通わなければいけない場合もある。それでも子供はたくましいもので、小学校でちゃんとともだちを作っているし、先生たちも助けてくれている。幼稚園からいっしょのともだちがいなくて小学校で困るなんてことはありえない。もし本当にそういう子供しかいないのなら公立幼稚園の保育そのものが疑わしくなってしまう。実際にはそんなことはないし、そういった心配は過保護というものである。だいたい幼稚園がいっしょになっても行先がふたつに分かれるだけで、同じ小学校に通う子供はこれまでどおりいっしょにあがれるか

ら何も問題ないのではないか。それとも別の小学校の子とも別れたくないということだろうか。このあたりの言い分が理解できない。

統廃合により人数が減るというならそれが保護者の選択であり公立幼稚園が時代のニーズに合っていないということだろう。中には私立園の子供を公立に持ってくればよいという意見もあるみたいだがとんでもない話だ。私立の子供やそこで働いている職員がどうなってもいいというのか。保護者がみんな公立を選びたいと思っているわけではない。

最初は意見を出すつもりもなかったが、会議録を読んで不安になったのでひとりの市民として提出をさせてもらう。安易な施設の削減であれば反対だが今回の統廃合は仕方ないことだと思う。通える園がなくなるわけでもないのに反対する理由が見当たらない。むしろ統合しても利用者の倍ほども入れる園が残るのでは保育所との差はまったく解消されていない点が気にかかる。

共働きが当たり前になってきた昨今、本当に子育てのしやすいまちづくりを目指すなら幼稚園にかけているぶんの税金を削減し、保育所を充実させていくのが行政の務めだと要望する。小学校の隣に幼稚園がある市よりも、いつでも保育所に入れる市のほうがよほど魅力的で人口も増える。藤美緑地の保育所には期待しているがそれで待機児童が解決されたのかどうかしっかりと市民に伝えてもらいたい。それと同時に藤美緑地以外の保育所についても考えていってほしい。いま本当に困っているのは保育所の親だということを藤井寺市にはしっかりと認識して行政として正しい判断を行ってほしい。

No.52 女性 30歳代

統廃合のお知らせの仕方がよくなかったと思います。

小さいスペースで、育児のページに載せなかったのは育児のページにスペースがなかったからと聞きました。

公立幼稚園のことをすごく適当に考えてるのかな？と思い本当にかっかりしました。

西幼稚園は創立 50 周年を迎えます。

この 50 年卒園していった子供たちや、歴史の重みを感じて誠意を持って気持ちのこもった対応をしてほしい。

市役所の方の対応が違えばお母さんたちの怒りや戸惑いがもう少し少なかったと思う。

この先、こども園を作ると言うときはメリットなど先に説明してほしい。

この先の子供たちの事を考えて行いう計画ならお母さんたちも協力してくれると思う。

私は藤井寺市の公立幼稚園の教育は海外の教育みたいでいいなあと思っています。

運動会のリレーの順番を決めるとき、子供たちにどうやったら早く走れるか考えさせてくれ、自分たちで順番を決めさせてくれました。

劇の時はみんな一通り役をしてみて、〇〇ちゃんはこの役が上手だった！と友達に誉められた役に挑戦させてくれました。

誰かが休んでも大丈夫なように、みんながセリフを覚えていました。

この虫飼いたい。

この虫調べたい。

と言えば図鑑を見たり、飼ったりして調べさせてくれました。

カタツムリが何時に起きるかとか、うちは何色かとか調べて子供が教えてくれました。こういう経験が小学校の生活、理科の授業につながっていたんだなあと思っています。先生に言われたことだけじゃなく、実際にいろんな体験をさせてもらえて、藤井寺の公立の幼稚園に通わせて本当に良かったって思ってます。公立幼稚園は遊んでるだけと思われるかもしれませんが、砂は掘れば冷たいとか、泡はどうやったら作れるかとか、小さいお友だちにはどう接したらいいかとか、沢山いいところがあります。このいい教育を藤井寺に残してあげてほしいなあと思っています。遊具のある公園もなく遊ぶところはない、赤ちゃんを産める産婦人科もなく、幼稚園までなくなったら藤井寺で子育てしたいって思う人がいなくなるんじゃないかと心配しています。保育園に通う子供も、幼稚園に通う子供もみんなが藤井寺にすんで良かったって思えるように考えてほしいです。よろしくお願いします。

No.53 女性 30歳代

市立幼稚園・保育所再編実行計画（前期計画）（案）を拝見しました。市立幼稚園については、定員割れがあり、統廃合は仕方ないことかとは思いますが。

しかし、転園となると通園の距離が長くなり、送迎が困難な家庭も出てくるかと思っています。また、登園の際の自家用車の利用で近隣の方のご迷惑や事故につながることも懸念されます。ぜひスクールバス等が利用できるよう整備をお願いしたいです。

また、保育所について、利用者の増加やニーズは今後も高まるのではないかと考えています。何より優先していただきたいのは第5保育所の耐震工事です。

先日とある場で、「耐震工事はしない。現状大地震が発生した場合、第5保育所の児童は死ぬ」と公言された議員さんがいると聞きました。公人としての発言としてとても聞き逃せるものではないことは明らかです。人の命の責任はだれにも取れません。だからこそ、安全対策は最優先していただきたいです。

また、保育所の場所や建設費用の面であらゆることを不可能と判断するのではなく、市として税金以外で収入を増やす方法を考えてみてはいかがでしょうか。現状を打破するには、何か大胆な発想が必要だと思います。

長期的に見て、藤井寺市の幼児教育が面白いものになるような工夫もぜひ募集していただきたいと思っています。

No.54 女性 年齢不詳

私立ではなく公立を選ぶのは基本的に地域での子育てを望んでいるからです。幼稚園に限らず、学校に進級し子どもだけの行動が増えていく中で、地域の知り合いが多い事は安全面にも繋がります。

幼稚園で行われた説明会の際、園児が30分かけて通うのは無理があるのでは？と聞いたところ、「幼稚園に着いたらまず休憩をすればいい」という返事が返ってきました。毎日毎日、登園したら休憩をするところから保育が始まると本気で考えていて出た返答なんですよ？休憩をしないと通

えない幼稚園に行く園児の事をどのように考えているのか理解できません。

大人数の保育が正論かのような説明だったが、保護者として少人数での保育に不満を抱いた事は一度も無く、少人数で保育していて、小学校にあがってから、その事で困った事もないし、小学校の先生に注意された事も一度もありません。

耐震について、なぜ耐震化がされていない園に統合をする必要があるのですか？安全性が確保されていない園に統合など、納得する保護者がいるはずがない事ぐらい容易に分かる話です。予算が有無以前に、園児の安全を第一に考えるのが市の役目であると思います。

説明会の際に出た意見をパブリックコメント扱いしないとされました。なぜでしょうか？市は統廃合するに当たって、保護者や地域の人に対して説明会を開き、説明はしたという形が欲しかっただけだという印象しか残りませんでした。全ての説明会で出た意見をパブリックコメント扱いしてください。どの説明会で沢山の意見が出ています。こちら側も記録しています。偽りなく全てを公表してください。

すべては園児のため、園児が第一優先です。

市役所の中だけで短期間で決めず、保護者、市民の意見をもっと聞き入れるべきです。

よろしくをお願いします。

No.55 女性 70歳代

藤井寺市立幼稚園で3歳児保育をしてほしいとの声に背を向け、児童数が減っていることを理由に統廃合を提案するのは納得できません。あらゆる努力をしたがやむなしとは思えません。公立幼稚園の役割をどう考えておられるのか明確にして、この間寄せられたパブリックコメントや説明会での意見などを十分検討していただきたいです。

前期計画では3歳児保育はしないとのことでしたが、そういう風に決めてから説明するのは、幼児教育のあり方から考えるのではなく、統廃合ありきとしか思えません。校区ごとに市立保育所(第7保育所は民営化されましたが)・幼稚園があり、「子育てするなら藤井寺」は魅力的なまちづくりに大事な点です。

どうか、出された意見に十分耳を傾けていただきたいと切望します。

No.56 女性 30歳代

市立幼稚園の統合に反対です。市立幼稚園には良い所がたくさんあると思います。中でも、幼学校にあがる準備をして通学路に慣れ、危険な場所把握することは親にとっても子にとっても重要な事だと思います。自分の通う小学校が目の前にあること、交流があることも新しい生活が始まる子供達にとって情緒を安定させるポイントになると思います。幼稚園が統合されればそのメリットは無くなります。

保育所の入所者の中には、そのメリットの為に幼稚園に入れたくても受け入れ体制が無い事であり知らめられている方も多くおられると思います。まずはそういう方達の幼稚園での受け入れ体制(時

間外保育、3歳児受入れ等)を検討をお願いします。

このままでは若い子育て世代の方々は藤井寺にいれなくなります。子育てのしやすい藤井寺を目指して下さい。